

憩いと交流の場がオープン

山田町ふれあいセンター



開放感のある入り口があなたを迎えます



図書館にはたくさんの蔵書



借りたい本見つかりました



特製パンをお振る舞い

7月2日、「山田町ふれあいセンター」の開所式が同センターで行われました。町民の交流の場と図書館機能を持つ本施設は、〈公社〉セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが子どもたちと共に立ち上げた「山田町子どもまちづくりクラブ」のメンバーが約2年前から企画・デザインしました。オープン当日には、待ちわびた多くの人々が訪れ交流を深めました。

開所式は、施設の中央にある中庭で行われました。佐藤町長は「憩い、学び、交流する場になつてほしいという子どもたちづくりクラブのメンバーの願いを実現できるよう、これから運営していきます」とあいさつ。

また、同クラブのメンバーが施設完成までの歩みや、施設に込めた思いを発表すると、会場から拍手が送られました。最後には、開所を記念したケーキに刀し、オープンを祝いました。式の終了後には、施設内を探検するオリエンテーリングや絵本の読み聞かせなどのイベントを実施。オープンを記念したパンも振る舞われ、訪れた人々は

食事コーナーで交流を深めました。

また、図書館コーナーでは、早速、多くの人が本を借りていました。2冊の本を抱える佐々木真菜さん（9歳）は、「今日は読みたい本を見つけることができました。これからはたくさん借りたいです」と笑顔で話してくれました。

ついにオープンを迎えた「山田町ふれあいセンター」。子どもたちづくりクラブの今野諒太君（宮古高校2年）は「今日がスタートライン。より多くの人々が交流する場になつてほしいです」とこれからを見据えています。

子どもまちづくりクラブメンバーに聞いた！
施設内一押しポイント

◎光差し込む一般図書室
今野諒太君の一押しは一般図書室。光差し込むその場所では、約2万冊の本があなたを迎えます。



◎集中できる空間「ほこら」
小野寺彩さん（山田中2年）は「一人はもちろん友達同士でも使用できる空間です」と笑顔で紹介します。

